

5. 平和な世界を子どもたちに

- 第2次大戦後、世界の151ヶ所の紛争・内戦で多くの犠牲者が
 - ・ 現在の戦争は兵士よりも非戦闘員が犠牲
⇒ 一般市民の犠牲が多い
 - ・ 第2次大戦後も、朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、アフガン侵攻
⇒ 今も世界では戦争が続いている
- | | | |
|-------------------|---|----------|
| 第1次大戦の死亡者数 | : | 約1000万人 |
| 第2次大戦の死亡者数 | : | 約5000万人 |
| 第2次大戦以降の戦争による死亡者数 | : | 5000万人以上 |

- 地雷・クラスター爆弾などの現状
 - ・ 地雷は民間人と兵士を区別しない
 - ・ いったん埋設されると除去されるまで人を負傷させる
⇒ 非人道的兵器
 - ・ 地雷は世界中におよそ1億個埋められている
 - ・ 地雷は非常に安価（1個2～3ドル）だが、除去には1個約300ドルが必要
 - ・ 他にもクラスター爆弾（小爆弾を撒き散らす爆弾）の不発弾なども含めて、80カ国以上の国で毎年2万人が被害にあっているとされている。

- 核兵器の現状
 - ・ 1発の核（1メガトン）で1000万人の大都市が全滅
 - ・ 世界に存在する核の数は15,000発以上
⇒ 世界全体を何回も破壊することができる
 - ・ 1発発射されると、自動的に報復攻撃が始まり、全面核戦争の可能性
⇒ 世界の破局を避けるために核廃絶が不可欠
 - ・ インド、パキスタン、イスラエルなどで核の拡散が始まっている

核保有国の戦略核弾頭数

ロシア	9000
アメリカ	5100
フランス	300
中国	240
イギリス	200
イスラエル	200
パキスタン	70
インド	50

(ピースデポ資料より)

最も豊かな国・貧しい国の格差

1820年	3 : 1
1920年	11 : 1
1960年	30 : 1
1980年	60 : 1
2000年	100 : 1

(UNDP「人間開発報告書」ほか)

● 貧困も戦争・紛争の大きな原因

- ・ 飢餓が10億人、しかし私たち日本人を含む10億人が飽食
- ・ 水不足7億人、私たちは100倍の水を消費
- ・ 12億人が一日1ドル以下の生活、私たち先進国は100倍の生活
- ・ 貧富の差は、産業革命、市場経済により拡大

● 軍事費を平和に使うと平和は実現できる

- ・ 世界の軍事費は約1兆5000億ドル

全地雷の撤去 330億ドル

全核兵器の解体 600億ドル

全飢餓人口10億人の食糧援助 980億ドル

重債務国の全債務の帳消し 4010億ドル

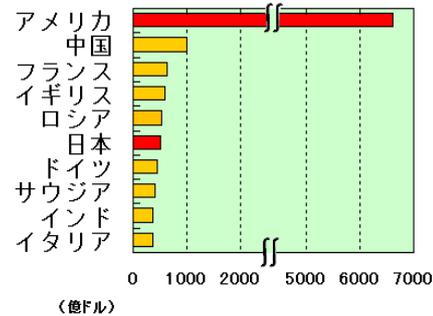
(米モンレー国際研究所、国連FAO、世界資源研究所ほか)

* 上記の金額を合わせても約6000億ドル

⇒ 平和のために使っても十分に足りる

各国の軍事費支出

(SIPRI 2010)



【平和へ向けて動き出した国々】

● オバマ大統領の呼びかけで核軍縮が動き出した

オバマ大統領の2009年4月のプラハ演説「核兵器のない世界の平和と安全を目指す」の実現へ向けて、2010年4月「核安全保障サミット」が開催

● 地雷のオタワ条約、クラスター爆弾のオスロ条約

- ・ 兵器削減へ向けた動き
- ・ 今後はアメリカなどの大国の条約加盟が必要

● 軍隊をもたない国

- ・ ミクロネシア連邦、リヒテンシュタイン、コスタリカなど世界27の国は軍隊をもたない国
- ・ コスタリカは、憲法で軍隊を廃止、非武装永世中立国
- ・ 日本も非武装中立は決して不可能ではない

* 軍事費や軍備を拡大⇒平和への積極的貢献が必要

● 私たちにできること

- ・ 世界の現状を学ぶ
- ・ 軍縮、世界平和の方向へ動こうとしている政党、政治家を選挙で選ぶ
- ・ 平和活動に参加する
- ・ 自分の身の回りで「非対立」を実践する